

福島第一原子力発電所 物揚場排水路における 簡易放射線検知器（P S Fモニタ）の「高警報」の発生について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 3 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

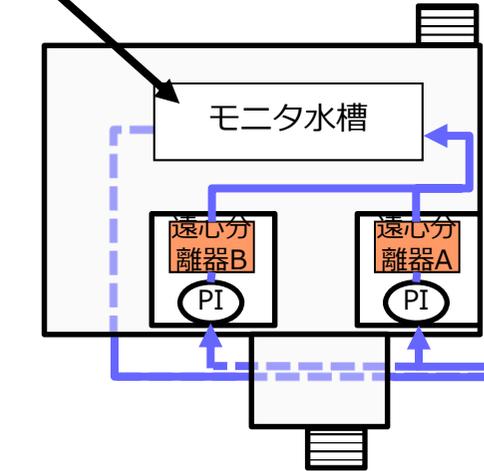
- 昨日（3月2日）、午後6時18分、物揚場排水路に設置している簡易放射線検知器（以下、P S Fモニタ）の高警報が発生しました。
- P S Fモニタ指示値は継続して低下傾向にあり、当該警報について同日午後9時44分に警報はクリアしました。また、プラント関連パラメータに異常がないことを確認しております。
- なお、モニタ指示値が低下傾向にあること、プラントパラメータに異常がないことおよび分析結果から、汚染水の漏えいはないものと考えておりますが、全ベータの値が高い値を示していることから念のため、当該排水路に設置してあるゲートを同日午後11時40分に全閉しております。
- また、排水路に溜まった水の回収を本日（3月3日）午前0時28分に開始し、継続して当該排水路の水を回収しており、回収した水については、Kタンクエリアの堰内へ移送しております。
- 本日午前7時35分に当該排水路近傍の設備について、パトロールを完了し、漏えい等の異常がないことを確認しました。
- 物揚場排水路近傍海水の分析結果については、通常の変動範囲内の値であることを確認するとともに、当該排水路水の分析結果については、継続して低下傾向を示していることを確認しております。
- 引き続き、P S Fモニタ「高」警報発生の原因を調査致します。

<参考> サンプルング結果

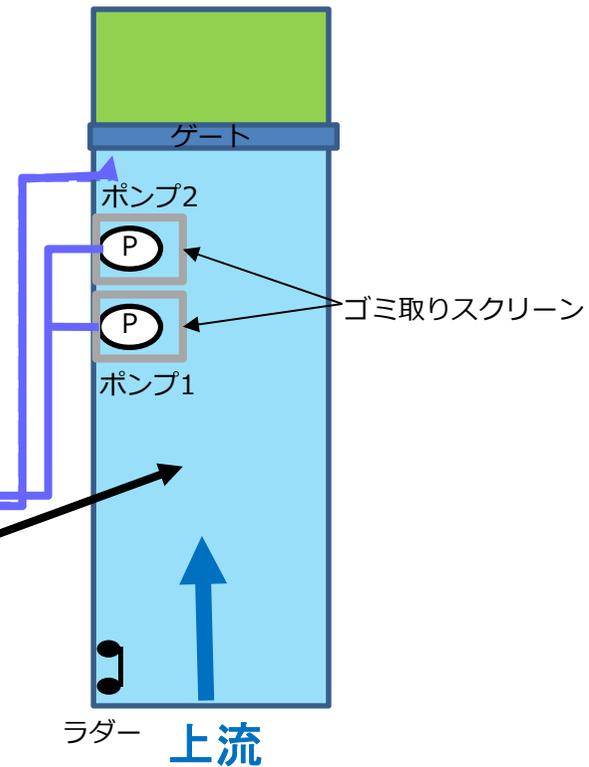
- 当該 P S F モニタ近傍水（3月2日午後6時45分採取）
 - セシウム134：検出限界値未満（検出限界値： 9.5×10^{-1} Bq/L以下）
 - セシウム137：16Bq/L
 - 全ベータ：890Bq/L
- 当該排水路 P S F モニタ上流側水（3月2日午後10時45分採取）
 - セシウム134：検出限界値未満（検出限界値： 7.8×10^{-1} Bq/L以下）
 - セシウム137：4.4Bq/L
 - 全ベータ：60Bq/L
- 物揚場前海水（3月2日午後11時20分採取）
 - セシウム134：検出限界値未満（検出限界値： 6.5×10^{-1} Bq/L以下）
 - セシウム137：0.64Bq/L
 - 全ベータ：24Bq/L
- 当該排水路 P S F モニタ上流側水（3月3日午前5時5分採取）
 - セシウム134：検出限界値未満（検出限界値： 5.2×10^{-1} Bq/L以下）
 - セシウム137：2.6Bq/L
 - 全ベータ：23Bq/L

<参考> サンプル採取箇所

3月2日午後6時45分採取箇所



3月2日午後10時45分採取箇所
3月3日午前5時5分採取箇所



<参考> 時系列

3月2日 (火)

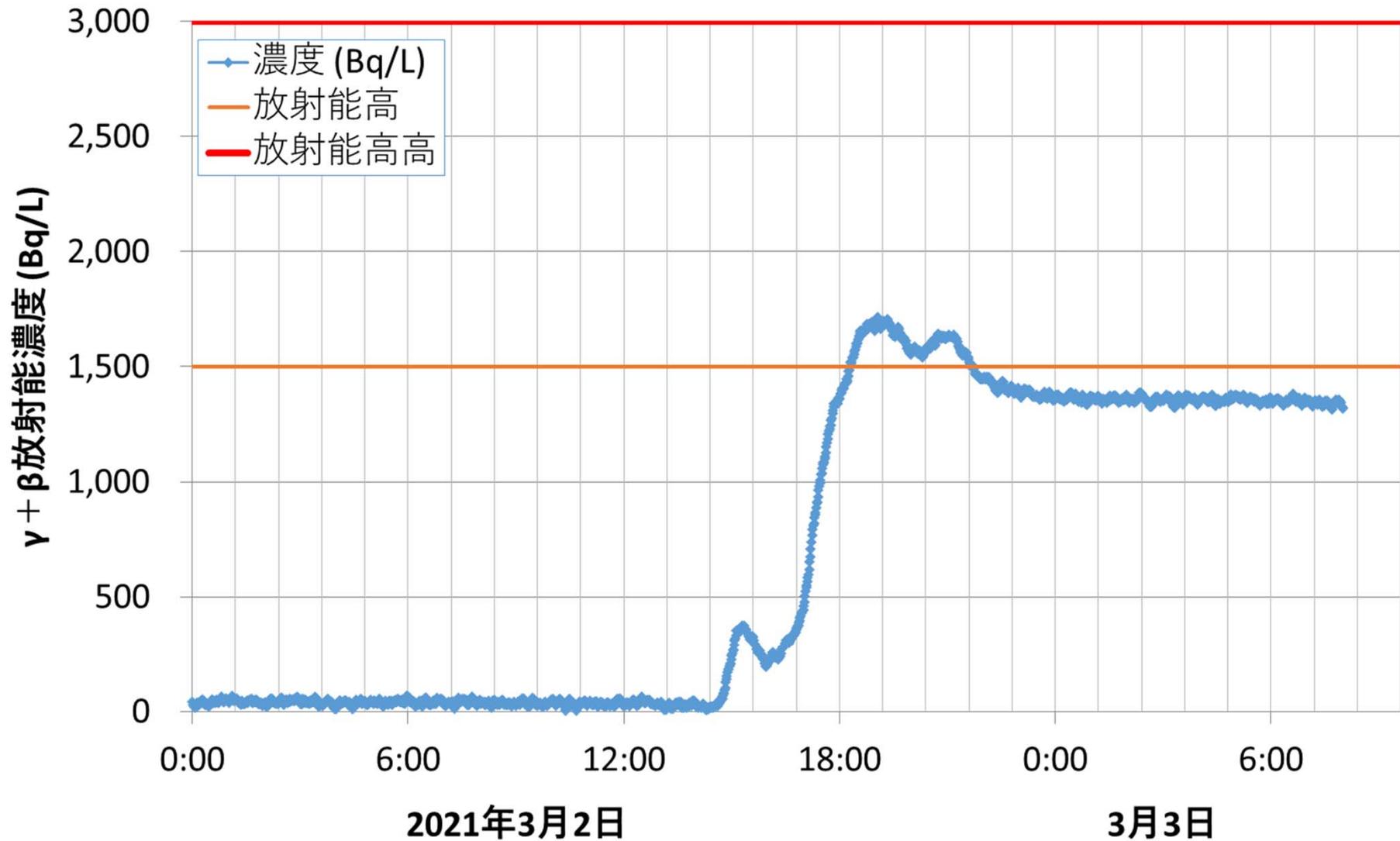
- 午後6時18分 物揚場排水路に設置しているP S Fモニタの高警報発生(高警報値：1,500Bq/L)
- 午後6時35分 モニタモニタリングポスト・敷地境界ダストモニタ・構内連続ダストモニタに有意な変動なし
- 午後6時45分 当該S F Pモニタ近傍水のサンプリング実施
- 午後6時49分 1～4号機および水処理設備プラントパラメータ異常なし
- 午後9時44分 P S Fモニタ高警報復帰
- 午後10時45分 物揚場排水路よりサンプリング実施
- 午後11時20分 物揚場前海水のサンプリング実施
- 午後11時40分 排水路電動ゲート閉止完了

3月3日 (水)

- 午前0時28分 排水路に溜まった水の回収を開始
- 午前5時5分 物揚場排水路よりサンプリング実施
- 午前7時35分 現場を確認した結果、設備からの漏えいはなく、排水路への流入がないことを確認。

<参考> 物揚場排水路トレンドデータ

トレンドデータ（物揚場）



<参考> 構内排水路位置図

